

乳がん検診について

こんにちは。今回は乳がん検診について説明いたします。



内科医師 古屋 茉優

日本人女性の9人に1人は乳がんになる時代です。定期的な検診受診で早期発見、早期治療を行うことが大切です。

木 乳がん検診の目的

マンモグラフィは、乳がんを早期発見し乳がんで亡くなる人を減らす効果が科学的に証明されている唯一の検査方法です。

日本人が乳がんになりやすい年齢は40代後半と60代前半ですが、鳥取県では高齢化に伴い、日本全体の平均よりも高齢の乳がん患者さんが多い傾向にあります。住民検診では40歳から定期的にマンモグラフィ検診を受けることが勧められます。

ヤ マンモグラフィとは



乳房のレントゲン写真のことです。小さな変化を見逃さないために、乳房をできるだけ引き出して薄い板で挟み、押し広げて撮影します。「痛いからいやー」というイメージをお持ちの人も多いかと思いますが。しっかりと薄く押し

広げると痛みを伴うこともありませんが、より診断しやすい写真を撮影することができ、被曝量も最小限に抑えることが可能です。将来の健康のためぜひ定期的な検診を続けてください。

木 プレスト・アウェアネス

自分の乳房の状態に日頃から関心を持つことをプレスト・アウェアネスと呼びます。乳がんの早期発見のために次の4つを心掛けて生活しましょう。

- ①日頃から自分の乳房を見て、触って、感じる(毎日の入浴の際に行うと忘れにくいです)
- ②気をつけなければいけない乳房の変化を知る(しこりが触れる、乳頭から茶色や赤色の分泌物がある、乳頭のただれ、皮膚のくぼみなど)
- ③乳房の変化を自覚したら、なるべく早く医療機関を受診する

④40歳になったら定期的に乳がん検診を受ける
39歳以下でも、乳房のしこりや変形など乳房の変化に気づいたときには医療機関を早めに受診しましょう。



おわりに

智頭病院ではマンモグラフィ検診を行っています。検診を受けるか悩まれている人、乳房の変化に気づいて不安な人、いつでも気軽に相談ください。

